

表面処理技術の研究最前線

**参加費
無料!**

主催 (一財)近畿高エネルギー加工技術研究所
兵庫県立大学 産学連携・研究推進機構

日時 令和6年2月9日(金) 13:30~16:00 (受付 13:00~)
会場 尼崎リサーチ・インキュベーションセンター(ARIC) 2F 小ホール
定員 50人

(一財)近畿高エネルギー加工技術研究所ものづくり支援センターと兵庫県立大学は、共催で「ものづくり向上セミナー」を開催しています。今回は、兵庫県立大学の先生方から表面処理技術の研究最前線をご紹介します。講演①は冷間加工の一種で表面処理として利用されているショットピーニング技術について、講演②はめっき法による機能性合金薄膜の創成と金属中の水素の挙動解析について、第一人者の先生方にご講演いただきます。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

講演

13:30~13:35

あいさつ

(一財)近畿高エネルギー加工技術研究所 専務理事 清水 英樹

13:35~14:45

①「ショットピーニングを用いた新しい異材接合技術」

兵庫県立大学大学院 工学研究科 機械工学専攻/教授 原田 泰典 氏

自動車や航空機に使用されているばねや歯車などの機械部品において、熱処理や表面処理などによって疲労寿命の改善が行われています。疲労改善の有効な技術として、ショットピーニングが知られており、機械部品に対して広く利用されています。本セミナーではショットピーニングにおける原理や効果について分かりやすく説明した後、ショットピーニングを応用した新しい異種材接合技術についても事例とともに紹介します。

14:50~16:00

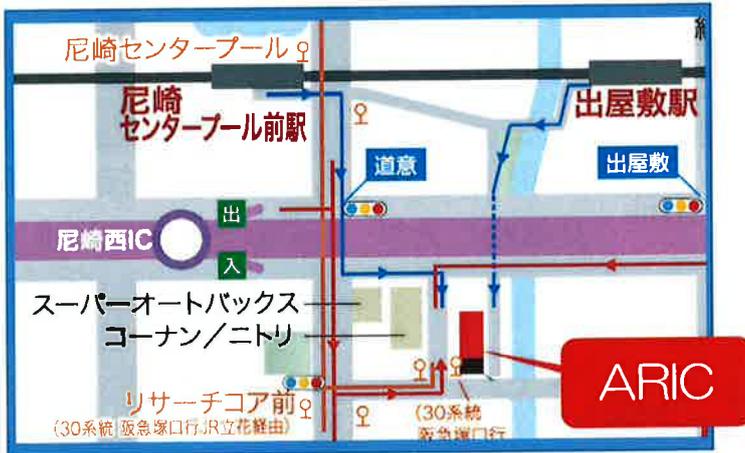
②「めっき膜中に共析した水素の存在状態とその影響の解析」

兵庫県立大学大学院 工学研究科 化学工学専攻/准教授 福室 直樹 氏

めっきは大型機械の表面処理から電子部品の製造まで幅広く応用されている。その中で、めっき膜中に共析した水素が膜の構造と物性に影響を及ぼし、素地金属の水素脆化を引き起こすことが問題となっている。本講演では、めっき膜と素地金属中の水素の存在状態とその分析法について解説し、様々な水素誘起現象の解析事例を紹介いたします。また、研究で使用している透過電子顕微鏡や各種分析装置の外部共用について紹介します。

アクセス

尼崎リサーチ・インキュベーションセンター (ARIC)
〒660-0082 尼崎市道意町7-1-3
Tel : 06-6415-2500



申込方法

参加申込書にご記入の上、近畿高エネルギー加工技術研究所宛にFAXまたはE-mailでお申し込みください。E-mailの場合は、必要事項をご記入の上、お申し込みください。

FAX : 06-6412-8266

E-mail : monodukuri@ampi.or.jp

申込期限

令和6年2月5日(月)

参加費

無 料

問合せ先

(一財)近畿高エネルギー加工技術研究所 〒660-0083 尼崎市道意町7-1-8
Tel : 06-6412-7736 FAX : 06-6412-8266 E-mail : monodukuri@ampi.or.jp

参加申込書

ものづくり向上セミナー2024 『表面処理技術の研究最前線』 令和6年2月5日(月)
送付先 : (一財)近畿高エネルギー加工技術研究所 FAX : 06-6412-8266

企業(団体)名		
〒 住所		
お名前(ふりがな)	連絡先電話番号	メールアドレス
代表者 ()		
()		
()		
()		